

那珂川 NEWS

7

育てませんか あなたと私の Wood コミュニケーション

日刊木材新聞 令和6年6月21日号より

6.13 記念市「木材まつり」

- ◆物件増で羽柄を積極手当て
- ◆90人参加で売上高1億4000万円

茨城木材相互市場(茨城県水戸市、大谷知行社長)は13日に木材まつりを開催し、買い方など90人が参加した。同市場では5月下旬ごろから徐々に梁などの邸別アッセンブルが増えだした。この動きに連動して今回市では羽柄関係も良く売れた。同社上半期最大の記念市でもあり、買い方は積極的に手当てした。非住宅を含めて特殊寸法の注文材が多く入り、今回は1億4000万円(前年比8%増)を売り上げた。来場した製材工場関係者は「3月を底に柱や土台が多少動き出した」「3~4月は角類の動きが鈍かったが、5月から増えだした」など、春以降荷物が動き出したことを指摘する。

国産材製品は底入れし、製材工場は相場を崩さないように踏ん張っている。6月から北関東でも虫の発生が本格化し、製材工場間で良品丸太の手当てに温度差が生じる可能性もある。特に今冬は、長期在庫する寒伐り丸太の確保が難しかった。そのなか輸入材はコストが上がり、品目によっては値上がりしている。来場したプレカット工場関係者は「7月入着のWウッド柱や間柱、Rウッド集成平角などはコストが上がる」と指摘する。このタイミングで同市場では平角のアッセンブルが増えだした。「5月上旬までは1日5~10立方メートルのアッセンブルだったが、30立方メートル前後に増加した。動きが止まっていた120ミリの関係も出始めた」と市況の変化を語る。

今回は茨城県産材推進協議会の共催で開かれた。大谷社長は「2025年4月施行予定の4号特例見直しでは、サポートセンターにて具体的に対応する。物流の24年問題は地域密着型の商いが有利にもなる。これらの変化をチャンスと捉え、新規需要を創造していく」と語った。5月に推進協議会の会長に就任した森嶋博光氏(森嶋林業社長)は、「推進協議会も設立から10年経ち、実績と知名度が上がってきた。今後は市場拡大を目指していく」と話した。(一部略)

日刊木材新聞 令和6年6月17日号より

構造計算サポート開始

県産材供給で差別化へ

茨城木材相互市場(茨城県水戸市、大谷知行社長)は、西原事業所(同ひたちなか市)でプレカット加工事業を展開する。2022年6月に西原事業所の事業を譲り受け、本社や笠間事業所(同笠間市)との連携作業を進めてきた。23年末まで加工規模は計画どおりに進ちよくしていたが、24年1月から市況を反映して急速に稼働率が低迷した。その結果、年間加工実績は2万7000坪(前年比約10%減)に減少した。

約7割を占める地場工務店や地域ビルダーからの受注が減ったものの、戸建て分譲や貸家、非住宅物件で補った。木工事を手掛ける笠間事業所との連携で、非住宅木造のプレカット加工も増えている。いまや公共系非住宅案件は県産材使用が必須となる。県内ほぼすべての製材工場から製品を調達する同社にとって県産材供給は同社が最も得意とする。県産材供給、木工事、プレカット加工という連携が形になってきた。

今後も県産・国産材供給を差別化策として、地場工務店との取引を強めていく。そのなかで25年4月施行予定の4号特例の見直しにより、提出が省略されていた構造関係図書の作成が必要となる。工務店や設計事務所の業務負担が大きく増えることが予想される。同社はこれまでハウジングサポートセンターを構え、2人体制で確認申請や長期優良住宅の申請業務をフォローしてきた。6月からは3人体制に増やし、許容応力度計算で耐震等級3を確認する業務体制を整備した。

また今年から毎月、本社と西原、笠間のリーダーが集まり、「プレカットプロジェクト」として話し合いを開始した。中・長期的な観点で、同社にしかできないプレカットの差別化策を講じていく。

■わたしたちの使命(SDGs)

(茨城木材の社会的役割)



「消費と生産を結ぶ価値ある架け橋」となる
一循環型地域環境の創造

1. 地域の人々により良い「住環境」を提供すること
2. 茨城県の森林環境を守ること



	令和6年5月新設住宅着工				
	計	持家	貸家	給与住	分譲住
全国	65,882	17,217	27,175	283	21,207
前期	104.1%	93.7%	107.7%	161.1%	107.5%
茨城	1,414	589	454	3	368
前期	107.5%	90.9%	122.3%	675.0%	117.2%

県内市別の状況及びR5年度累計は弊社Facebookをご覧ください。

「古内茶庭先カフェ」イベント(城里町)

Work Shop として参加！

SDGs の精神で廃棄木材を活用

6月9日(日)に城里町にて開催された「古内茶庭先カフェ 島家住宅にて」へ茨城木材としてWork Shopブースを設置し当社のPR活動等を実施しました。

本イベントは、茨城三大銘茶である「古内茶」産地の城里町古内地区で、茶園や近隣のお店、個人の住宅が庭を開放し、会場ごとに異なるこだわりのお茶とお茶請けで、お客様をおもてなしするイベントです。

Work Shopを出店するきっかけとなったのが、JUKAN(榎)主催の社内研修「Next100」に参加したメンバーからの発案でした。SDGsの精神に基づいて、社内で廃棄されてしまう木材(素材、梁、柱、合板等)や、PPバンド、輸入材梱包材を使用しWork Shopやバザーの開催を検討しました。



- ①水戸市・ひたちなか市近辺のクラフトイベント、マルシェに参加。当社ブースを設置しWork Shopを行う。
- ②当社ブースは、簿外材をプレカットしテントを制作。
- ③当社従業員と交流を持つことで、お客様に建築やプレカットを身近に感じてもらう。
- ④イベント情報をwebサイト、SNSへ掲載し発信力を強化。以上の事を念頭に、開催に向けて準備を進めました。

特に自社で製作するテントは、強度等を確認するため材料加工後、仮組を行い強度が弱そうな部分は補強するなどブラッシュアップを図り、安全性を高めました。



イベント当日は、テント設営から始まりWork Shopの準備を行い、お客様をお迎えしました。Work Shopでは、実際に自分達でイカカメラを組み上げて完成させる体験や、PPバンドで作成した金魚を1分間で何匹釣れるかを競ったりして、特にお子様に人気でブース内も盛り上がっていました。

またスツール制作では、カンナを使って仕上げる作業を昔を懐かしみながら体験していた姿も見られました。

今回はイベント初参加という事もあり、反省点もたくさん見つけたので、次回開催時には反省点を活かし更に良いブースを出店出来るよう進めていきたいと思っております。

最後になりましたが、この場をお借りしまして、本イベント開催に当たりご協力下さいました皆様、当日会場まで足を運んで下さいました皆様、心より御礼申し上げます。



☆次回は是非、皆さんも参加してみませんか！！☆

茨城県木材協同組合連合会

県産木材の利用促進を要

関係団体と連携し官公庁へ

第74回通常総会開く

茨城県木材協同組合連合会(野上満正代表理事)は24日、第74回通常総会を県産業会館で開催した。2024年度の事業計画案や予算案などについて審議し、いずれも原案どおり可決した。

総会に先立ち野上代表理事は、「関係団体と連携して官公庁に対し公共建築物などへの県産材利用を促進するよう要望していくとし、『伐って、使って、植えて、育てる』という緑の循環システムを構築し、木材需要の拡大に取り組んでいく」と述べた。

上野昌文農林水産部長は「県土の保全や地球温暖化防止など、森林の様々な公益的機能を発揮させるため、非住宅分野の木材利用を支援していく」とあいさつ。

金谷範導茨城森林管理署長は「国有林を国民共通の財産としてしっかりと管理し、県産材の安定供給のため、林業の成長産業化に寄与していく」と話した。

石井邦一県森林・林業協会会長は「未来に誇れる持続可能な郷土をつくるため、なお一層のお力添えをいただきたい。皆さまとの絆をしっかりと持ちながら、県産木材の利用促進を図っていく」と述べた。

大寺重人全国木材組合連合会総務部参与は「木材産業にとって厳しい状況が続いているが、木質化・木造化の建物が当たり前となる時代を目指して努力してまいります」と述べた。

議事では、24年度事業計画など9議案について慎重審議。全ての議案が原案どおり承認された。

建設未来通信 令和6年5月30日号より

社員からのメッセージ

氏名 高島 功太

仕事 住宅建材部 営業

血液型 O型

星座 おうし座

趣味・最近あった出来事



ピザとピッツアの違いについて

ピザ・アメリカから輸入したもの

ピッツア・イタリアから輸入したもの・・・だそうです。

大変勉強になりました。

メッセージ

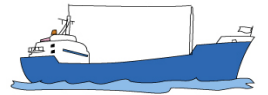
これからも頑張ります！

輸入材コーナー

外材6月基準相場

e-mail : gaizai@ibamoku.co.jp

概況



品名	規格	基準相場
桧防腐土台	4.00 × 9.0 × 9.0	90,000
	4.00 × 10.5 × 10.5	90,000
	4.00 × 12.0 × 12.0	90,000
米母 内地挽 KD	4.00 × 9.0 × 4.5	105,000
	4.00 × 4.5 × 4.5	105,000
米松 KD	4.00×9.0/10.5/12.0	105,000
米松 KD	3.00/4.00×15.0~27.0	85,000
米松 KD	3.00/4.00×30.0~36.0	90,000
RW 集成	3.00/4.00/5.00/6.00×450 迄	95,000
赤松 垂木	4.00×4.0×3.0	115,000
赤松 胴縁	4.00/4.5×15/18	110,000
WW 間柱	3.00/4.00×120×30/45	80,000
	3.00/4.00×10.5×30/45	80,000

6月に入りまして、構造材の出荷が急速に増加している状況です。

ロシア材市況に関しましては、冬切り丸太の不足や輸送問題や人手不足なども重なり、完成品の入荷は依然として少ない状況となっています。現地では、600\$の提示があり今後は620\$を超えてくるとおもわれ国内の販売価格は、110,000m3を超えてくる状況です。米松材の市況は、米松KD材の5m6mの欠品が目立ってきています。納期も未定なサイズもありRW集成材などへの代替えが出てきている状況です。欧州材も今後値上げが行われる見込みですが、それに歩調を合わせて米松KD材の値上げも予想されています。(神)

建材コーナー

e-mail : kenzai@ibamoku.co.jp

合板市況 2024.7

T2(F4)2.3	3×6	1,430	→	ラワン構造用 (輸入)	9ミ	2,340	→
T1(F4)3	3×6	1,670	→		12ミ	3,050	→
T1(F4)4	3×6	1,720	→	針葉樹	9ミ	2,100	↑
T1(F4)5.5	3×6	1,880	→	針葉樹	12ミ	2,450	↑
輸入JAS	3×6	2,540	↑	針葉樹	24ミ	4,900	↑
塗装 (ウレタン)	2×6	2,190	↑	針葉樹	28ミ	5,350	↑
	3×6	2,680	↑				

(注)建材コーナーのみ工務店価格となっております。

概況

針葉樹合板につきましては、大手ハウスメーカー・ビルダーの5月受注が前年を上回る企業も見られたが、全体の荷動きに関しては、依然として低調に推移していると思われます。景気の不安から様子見の動きが強い為、十分な合板の出荷量が確保できず、各メーカーとも販売価格を上げ切れずに苦戦が続いております。輸入合板に関しましては、一部アイテムの不足がみられていますが、堅調な荷動きで推移しております。しかし、円安や物流コスト、副資材関係の値上げもされていますので、価格に関しましては注意が必要になると思われます。今後、合板以外の建材製品の値上げの動きもあるため、更なる住宅コスト高を警戒していきたいと思っております。(直)

二言?

今日の一言



誰にでも
可能性はある
私も最初はゼロだった
by 安室奈美恵

沖縄出身の元歌手(2018年に電撃引退)
「平成を代表とする歌姫」としての地位を築いた



ひとりひとりの
ちがいを大切に
するとき

みんなの心は一つになる

by 大須賀 発蔵
弊社第三代社長(1923~2011)
1987年第21回仏教伝道文化賞受賞



天使とは美しい花を
まき散らす者ではなく
苦悩する者のために
戦う者のことだ

by ナイチンゲール
英国の看護師、社会起業家
「近代看護教育の母」と言われた



本社 6 月 基 準 相 場

e-mail : mokuzai@ibamoku.co.jp

品名	規格	グリーン材基準相場		KD材基準相場	
		特等	1等	特等	1等
杉正角	3.00×9.0×9.0	40,000	35,000	72,000	
	10.5×10.5	45,000		65,000	B品 45,000
	12.0×12.0	42,000		60,000	B品 40,000
	4.00×9.0×9.0	45,000	36,000	85,000	
	10.5×10.5	45,000	36,000	75,000	
	12.0×12.0	45,000	36,000	70,000	
	6.00×12.0×12.0	100,000	上小 180,000	135,000	
7.00×12.0×12.0	110,000	上小 200,000	165,000		
杉平割	3.00×10.5×3.0/4.5	58,000		70,000	
	3.00×12.0×3.0/4.5	58,000		65,000	
	4.00×10.5×3.0/4.5	58,000		80,000	
	4.00×12.0×3.0/4.5	58,000		75,000	
桧正角	3.00×9.0×9.0	60,000		80,000	
	3.00×10.5×10.5	70,000		80,000	
	3.00×12.0×12.0	70,000		75,000	
	4.00×9.0×9.0	75,000		95,000	
	4.00×10.5×10.5	75,000		85,000	
	4.00×12.0×12.0	75,000		80,000	
	6.00×12.0×12.0	140,000	上小 250,000	165,000	
7.00×12.0×12.0	200,000	上小 300,000	235,000		
杉平割	3.65×4.0×3.0	60,000	モルダ-	4m 85,000	
巾板	3.65×4.5×1.4	58,000	48,000	4.00×4.5×1.5	90,000
	3.65×4.5×1.8	58,000		4.5×1.8	90,000
	9.0×1.4	55,000	45,000	9.0×1.5	90,000
	9.0×1.8	58,000	45,000	9.0×1.8	90,000
	10.0×1.4	58,000	45,000	10.0×1.4	90,000
杉板	3.65×15.0~21.0×2.4	53,000		4.00×21.0×2.4	80,000
	1.82×15.0×1.2	38,000		〈杉本実目透加工板〉	
小割	3.65×3.0×2.4	60,000	35,000	3.65×10.5×1.2	特等 束 6,000
杉瓦棧	3.65×1.8×1.8	本 80			ム上小 束 9,000

プレカットコーナー

6月のプレカット工場の稼働状況は、先月に引き続き、各提携工場とも低調な動きになりました。一部のPC工場の事業停止(7月末)の影響で、近隣の工場に物件が流れ、新規見積り、図面作成の組み合わせが見受けられました。

7月は、盆前月の為、少し組み合わせが予想されますので、新規物件等のご検討されているお客様は、お早めのお問い合わせ、納期の確認が必要かと思われます。(杉)

木材市況

6月に入り、物件等も例年に比べて少なく、落ち着いた荷動きとなりましたが、梅雨入りが遅れていたこともあり、増改築などに使用する、杉KD間柱など羽柄材に動きが見られました。

原木の状況としては、出材は少なめですが、荷痛みを懸念して、各製材工場は買い控えており、製品入荷も少なめです。見積もり等も増えてきているので、これから梅雨明けに伴う荷動きに期待したいです。6月13日の木材まつりでは、荷主様・買方様のご協力もあり、盛大に開催され売上が出来たことをお礼申し上げます。(加)

公式SNSにて最新情報をお届けします！是非ご覧下さい！

Instagram



Facebook



〔市日予定〕

〈 本 社 〉

7月12日 (金) 記念市
13:00 せり開始

〈 つくば 〉

7月4日(木) 記念市
7月18日(木) 記念市